

ふれあいのまち



# 松原かわら版

世帯数 1,148 戸  
人口 2,950 人  
(平成 27.5.1 現在)

## 松原のマップをぜひ活用ください

皆さんの自宅に松原地区の地図が配布されています。

地図は左右二面あり、ひとつは松原の四季折々の行事や見所などを載せた「まつばらくらし情報マップ」、そしてもうひとつは、消火栓の位置や災害時の避難場所、緊急連絡先などが載っていて、いざという時に役立てていただきたい「まつばら安全安心マップ」です。



平成19年に第一版の「松原地区くらし情報マップ」が作成されましたが、昨年度見直しを行い、より皆さんに活用していただけるようにと、地区内の有志の方々との意見交換をして、作成しました。

「自宅の目の届く場所に掲示していただき、ぜひ活用ください。」

### 新任町会長



第4町会 鈴木 町会長

27年度に新たに役員になられたお二人からごあいさつをいただきました。

松原第4町会長に就任してから早1ヶ月が経ちましたが、いまだ右往左往の連続で、諸先輩方々の応援を得て何とか運営しております。私は今まで俗にいう転勤族と呼ばれて

### 体協会長



体協 熊木 会長

地道な活動と併せて、必要とされる町会になるように諸先輩方々のお知恵を拝借し、試行錯誤を続けていきたいと考えていますので宜しくお願います。

平成27年度より、松原体育協会・体育委員の会長を務めさせていただくことになりました。今までは、松原スポーツ

いる一員であり、赴任地では単身マンション生活でした。マンション生活は地元との接点もなく全く町会とは無縁でした。縁あって5年程前に松原に落ちつく事になりましたが、環境に種々戸惑いを感じながらも何とか今日に至っています。そんな感覚の中で町会長という重責を担うことになって、「町会の役割」「町会の運営」等々自問自答をしております。住み良い街・松原にするにはどうしたらいいのか。どの町会も抱えている高齢化、イベントの参加減少、無関心等をどうするか即効性のある対策を思慮中ですが、簡単な道程ではありません。

### 新任職員



前川 センター長

4月1日付で松原地区地域づくりセンター長に就任しました前川文男と申します。よろしくお願いたします。

さて現在、社会情勢は少子高齢化、人口減少、長引く不況等様々な問題が山積しております。

松本市は健康寿命延伸都市の創造を目指し、様々な取組みを実施していますが、そのためには地域の力が必要不可欠なものとなってきております。

「地域づくり」という理念は具体的にはどういうものか、なかなか難しいかと思いますが、松原スタイルと言えるようなものをみなさんと一緒に勉強しながら創っていく

ことができればと思っております。

### お世話になりました

新年度がスタートし、早2カ月。松原中央公園の眩いばかりの新緑も、地区住民の皆様方の心の癒しになっていることと拝察いたします。

さて、3月末をもちまして、松原地区地域づくりセンターから異動いたしました。あらためて地区住民の皆様方にいただきましたご厚情に対し、心よりお礼申しあげます。

松原地区には平成17年から10年間お世話になりました。10年間の一コマ一コマは、どれをとってみても一言では語りつくせない、忘れられない思い出です。地区の多くの方々と出会い、ふれあい、語り合いを通じ、私自身、大きく成長させていただくことができました。

松原地区での経験は、私にとって何にも代えがたい宝です。この宝を誇りに思い、また私自身の支えにしながら、新たな環境の中で力を発揮していきたいと思っております。

松原地区の皆様、本当にありがとうございます。 (中央公民館長 高橋伸光)

### 平成27年度松原地区町会連合会 役員名簿

以下の方々が27年度の役員の方皆さんです。  
よろしくお願ひします。(敬称略)

#### 【三役・監事等】

会 長	小栗 勝人 (第1町会)
副会長	下村 純 (第7町会)
会 計	服田 芳明 (第1町会)
監 事	三澤 政明 (第1町会)
監 事	小穴 秀彦 (第6町会)
町内公民館長会長	荒井かほる (第5町会)

#### 【専門部会長】

衛生協議会	藤井 正幸 (第4町会)
防災防犯部会	大宅 輝美 (第6町会)
婦人部会	伊藤 方子 (第6町会)
体育協会	熊木 貴志 (第1町会)
文化広報委員会	市ノ瀬 進 (第3町会)
子ども育成会	廣田 純治 (第5町会)
安協松原支部	横尾 勲 (第2町会)
健康づくり推進員会	大門千恵美 (第6町会)

#### 【町会長】

大久保博之 (第1)	新保 俊尚 (第2)
井垣 孝夫 (第3)	鈴木 恒明 (第4)
桑原 英二 (第5)	小松 護 (第6)
渡辺 陽介 (第7)	

なお3月31日をもって以下の方々が退任されています。お疲れさまでした。

#### 【専門部会長】

体育協会	宮下 隆 (第6町会)
------	-------------

#### 【町会長】

田中 茂男 (第4町会)
--------------

#### 《平成27年度編集委員》

委員長	市ノ瀬 進 (第3町会)
副委員長	岩垂 頼子 (第5町会)
委 員	長島 正義 (第1町会)
委 員	森井 啓二 (第2町会)
委 員	長坂 芳子 (第4町会)
委 員	手塚 雄一 (第6町会)
委 員	青木 民生 (第7町会)
全市版委員	鹿野佐智子 (第1町会)

## 松原地区人権協視察研修 杉原千畝記念館

4月22日、南下するにつれて新緑が次第に濃くなる中を、小型バスで岐阜県八百津町にある記念館を訪ねた。それは、小高い丘を登って広がる「人道の丘公園」の一角にあった。

まず、イスラエル人の女性から説明をしていただき、ビデオを見て、館内を見学した。第2次世界大戦中のナチス政権とその協力者は、ユダヤ人などに対して大量虐殺を行なったという。そのような惨状の中、当町出身の杉原千畝はリトアニア共和国の日本領事館領事として赴任して

た。

一九四〇年のある日、ポーランドに住んでいたユダヤ人が大量に国外脱出のビザを求めて押し寄せてきた。千畝は、日本の外務省に「通過ビザ」を許可してくれるよう何度も打電した。しかし答えは「ノー」だった。苦悩の末、ついに千畝は本省の命令に反し、「領事の権限でビザを出すことにする。いいだろう?」と妻に問いかけ、同意を得て発給に踏み切った。

1カ月余り寝る間も惜しみ、1日16時間書き続け、その結果六千人の命が救われたという。千畝は「日本のシンドラー」と言われるが、当のシンドラーは千二百人近くを救ったというから、千畝の方が数倍

も多いことになる。

さて、21世紀の今になっても相変わらず理不尽な紛争が続き、弱者への人権蹂躪がなくなっていないこの世界は、一体どうなっているのだろうか? (編集委員長 市ノ瀬 進)



## さつき 金井 哲を

五月晴学園林にかっこう鳴く  
五月晴家それぞれの布団かな

## コラム 北の旅人

春の松本は一齐に草木の花が咲く、中でも桜の花は見事で各地区で一大イベントが盛大に行われる。歴史ある弘法山古墳のソメイヨシノ、オオヤマザクラ、お城の堀のライトアップ、波田安養寺のしだれ桜、薄川土手の並木など数えればきりがなく素晴らしい。

その昔、奈良時代には花見は梅の花が専らだったらしく、当時、桜は田の神の花として信仰や占いのために植えられた。平安時代になると木も増えて、貴族の間で和歌などに詠まれたりして、次第に広まったらしい。その後、武士階級に普及し、江戸時代には群生地も増え一般庶民の間でも花見が定着するようになり、落語の「長屋の花見」などにも登場している。ところで、本来「桜」は「櫻」と書く。貝は貴重なもので

あり、女性も大切で、桜も神の花として崇められていたので、大切な物を集めて「櫻」という字ができたという説もある。この字を昔の学生は「二階(貝)の女が気(木)にかかると読んで覚えた。大正元年(一九一二年)に東京荒川の桜の苗木、三千本がアメリカ・ワシントンに贈られ、ポトマック川の河畔に植えられたことは有名である。

また、松本の高台では、一足遅れで、中山霊園や城山公園、アルプス公園でも桜が楽しめる。なお、松原中央公園の桜の木も大きくなり特筆に値する。大いに花を満喫したいものである。



花びらを  
散り敷きて尚  
女王かな